

今年も

3
集まれ!



日本語教育の仲間たち!

基調講演

eラーニング

熊野七絵 氏

(国際交流基金関西国際センター)

2024年8月24日 (土)

12:45~17:15

場所：九州大学大橋キャンパス

参加費：無料

定員：80名

ミニ・ワークショップ/ポスター発表

教授法・教室活動

横溝紳一郎 氏

(西南学院大学)

教師の成長

河野俊之 氏

(横浜国立大学)

ライティング授業

川崎加奈子 氏

(長崎外国語大学)

授業活動

末繁美和 氏

(岡山大学)

授業デザイン

小田佐智子 氏

(西南学院大学)

練習問題の有効性

郭 昱昕 氏

(長崎大学)

教案・教材作り

小山 悟 氏

(九州大学)

日本語教育よろず相談

皆さんが主役です

オンラインでも配信いたします

ただ、状態としては、テレビ中継を見ている感じになりますので、福岡市内または福岡市近郊にお住まいの方は、対面で参加されることをお勧めします。

問合せ：九州大学留学生センター小山研究室
koyama.satoru.188@m.kyushu-u.ac.jp



プログラム

基調講演（熊野七絵）

eラーニングとこれからの日本語教育—生活・就労のための日本語学習支援にどう活用できるか—

eラーニングは日本語教育現場にとってはハードルが高いと思いませんか？ JFのeラーニングを例に、習得を促し、自学自習を支援する仕掛けを紹介するとともに、これから増えていく生活や就労のための日本語学習支援にeラーニングをどう活用できるのか、授業と組み合わせた学習デザインの実践事例も紹介し、皆さんと考えたいと思います。

ミニワークショップ／ポスター発表

教授法・教室活動（横溝紳一郎） CLLの理論にもとづく教室活動

外国語教授法にはそれを支える教育理論があり、その理論を深く理解することで、色々な教え方のアイデアが生まれてきます。ハワイで日本語を教え始めてから、ずっと私にとっての「幹」であるCLL（Community Language Learning）を例にとって、教育理論と教室活動のつながりをご紹介します。

教師の成長（河野俊之） モデル会話っちどげんしたらよかと？

初級教科書にはいわゆるモデル会話が各課の最初にあるのが一般的です。しかし、それを課の最初に扱って「この課の文法項目を勉強したら、こんなことができる」と示しても、学習者の反応はイマイチです。課の最後に扱っても、ただ単に読み上げるだけで盛り上がりません。でも、モデル会話は学校で扱うことが決められていたりします。「やらなくてもよかるおもん！」とも思いますが、よりよい方法を考えてみましょう。

ライティング授業（川崎加奈子） 大学のライティングに壁新聞！？

突然担当することになった作文の授業で、アカデミックでない教師がアカデミックを求めない留学生に何を書かせたらいいのか……。コロナ収束時に泥縄式で始めた壁新聞は、意外にも授業外で評判になりました。制作過程における学生の変化と、教師の夢と迷いの往還をご紹介します。

授業活動（末繁美和） 学習者のレベルに合わせたタスクの難易度調整

クラス内には必ずといっていいほどレベル差があり、統一したタスクを用いると、簡単すぎる、難しすぎる等、ペアにより進度や到達度に大きな差が出てきます。本発表では、初級教科書のペア練習をベースに、タスクの構成要素や複雑さ等を変えることにより、それぞれの学習者のレベルに合わせた難易度のタスクに調整する方法についてご紹介したいと思います。

授業デザイン（小田佐智子） CLILで好奇心を刺激する授業をデザインする

授業がワンパターンになりがち、学生の自発的な発話が引き出せない、深く理解できているか不安…と感じたことはありませんか。ここでは学生の興味関心をひく内容を通して、文法や語彙などの「言語」と分析力や理解力などの「思考」を伸ばしていくCLILという教授法を紹介します。先生も学生と一緒に思考する授業に興味がある方はぜひ。

練習問題の有効性（郭 昱昕） シャドーイング練習をもっと有効に！

発音も改善でき、聴解も促進でき、発話スキルもアップできると様々な検証を経てきたシャドーイングは「万能薬」のように見えます。一方、授業の一環として行っても、課題として学生に与えても効果がいまいちである場合も少なくありません。シャドーイングをより効果的にするには何が必要なのでしょう。実践例をもとに考えたいと思います。

教案・教材作り（小山 悟） 地域の日本語教室にこそ反転授業を！

反転授業には動画が必要と思っている方！ それは全くの誤解です。これまで授業内でしてきた基礎知識の学習を事前に自分でしてもらい、授業ではより多くの時間を知識の活用などに充てるというのが反転授業で、時間と回数に限られた地域の日本語教室にこそ必要な考え方だと思います。当日はゼロ初級者対象の教案と教材について紹介します。

※各発表・ワークショップは20分単位で複数回行われますので、ご興味のあるブースをご自由にお回りください。

スケジュール (予定)

- 12:15 開場／受付開始
- 12:45 ご挨拶
- 12:55 ポスター発表 or ミニワークショップ
- 14:45 休憩
- 14:55 基調講演
- 15:55 休憩
- 16:05 よろず相談会
- 17:05 ご挨拶
- 17:15 終了

Zoomでも配信いたしますが、テレビ中継を見ているような感じになります（意見交換ができません）ので、県内・市内在住の方は対面で参加されることをお勧めします。なお、オンライン参加には定員は設けておりません。どなたでも、どこからでもご参加いただけます。

申し込み方法

- 以下のサイトからお申し込みください。



会場へのアクセス

1. 会場は九州大学大橋キャンパス **7号館 1階**の**ワークショップルーム**です。
2. 天神からお越しの方は**西鉄大橋駅**で下車されてください。
3. 博多からお越しの方は西鉄バスの**塩原4丁目バス停**で下車されてください。地下鉄で天神まで行き、そこで西鉄電車に乗り換えるのも一案です。
4. 詳細は以下のウェブサイトにある地図または案内をご覧ください。
<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/access/>

